



Transform— ITのチカラで、未来を変えよう。

第**54**期 株 主 通 信
第**2**四半期／上半期報告書
平成29年4月1日～平成29年9月30日

JBCCホールディングス株式会社

証券コード：9889（東証一部 情報・通信業）



株主の皆様へ

上半期業績ハイライト

連 結 売 上 高

343億 86 百万円

(前年同期比16.3%減)

連 結 営 業 利 益

10億 51 百万円

(前年同期比9.5%増)

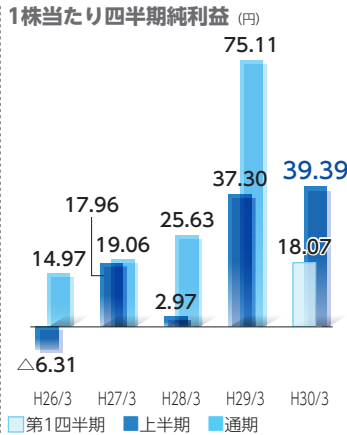
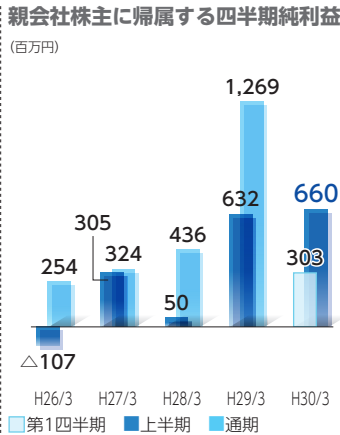
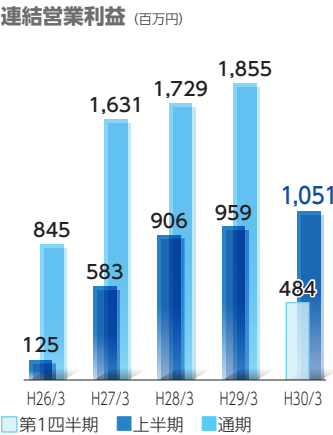
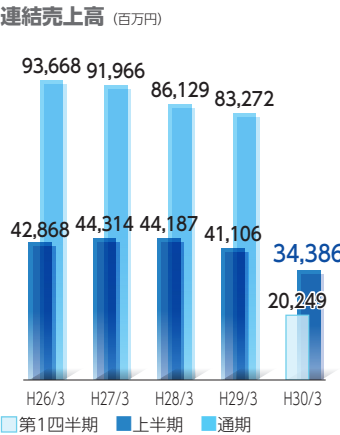
親会社株主に帰属する四半期純利益

6億 60 百万円

(前年同期比4.4%増)

配 当 金

14.0 円



業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
第2四半期(累計)	34,000 百万円	800 百万円	830 百万円	550 百万円	32円76銭
通 期	63,000 百万円	1,900 百万円	1,950 百万円	1,250 百万円	74円59銭



平素は当社の経営に一方ならぬご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第54期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の第2四半期が終了いたしましたので、事業の概況をご報告申し上げます。

大企業のみならず、当社の主なお客様である中堅企業においても、IoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）などの新たなIT活用の検討が活発化しており、IT投資も回復の兆しが見られてきました。

このような中、今年度は中期経営計画「Transform2020」の初年度にあたり、7つの成長事業（WILD7）を推進し、更なる収益の向上に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高343億86百万円（前年同期比16.3%減）、営業利益10億51百万円（前年同期比9.5%増）、経常利益10億82百万円（前年同期比11.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億60百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

第1四半期末に連結子会社であった株式会社イグアスの全株式を売却したこともあり、前年同期比では減収となりましたが、収益向上の取り組みにより増益となり、中期経営計画の初年度として、順調なスタートをきることができました。

このような状況を踏まえ、株主の皆様への中間配当につきましては、1株当たり14円とさせていただき、期末の配当については14円を予定しております。

引き続き、皆様のご期待にお応えできるよう、より一層努力を重ねてまいりますので、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



JBCCホールディングス株式会社
代表取締役社長

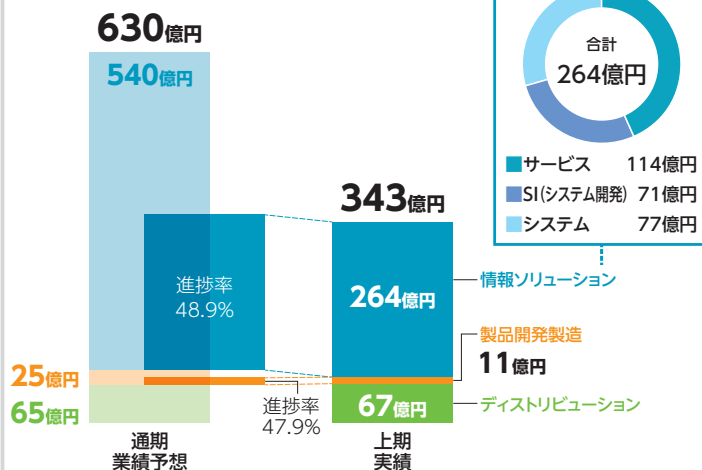
山田隆司



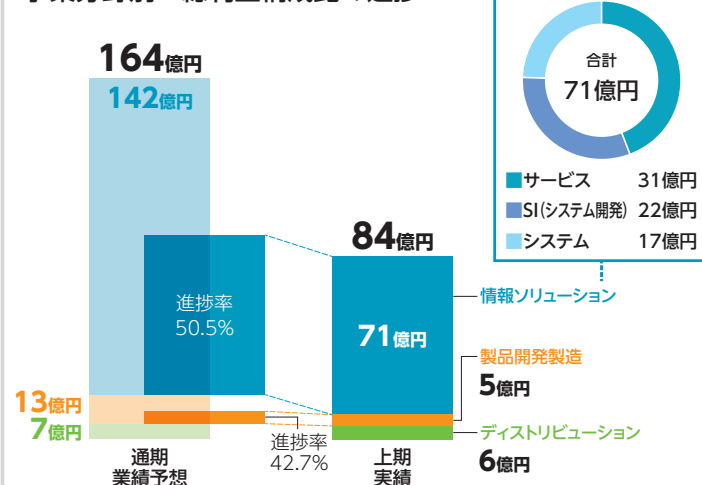
上半期のビジネス概要について教えてください。

ここでは、各事業分野のビジネス概況について、ご説明します。

事業分野別 売上高構成比の進捗



事業分野別 総利益構成比の進捗



1 情報ソリューション分野

売上高

264億31百万円

(前年同期比 1.8%減)
通期予想進捗率 48.9%

総利益

71億77百万円

(前年同期比 3.6%増)
通期予想進捗率 50.5%

企業の情報システムの構築及び運用保守サービス等を行っている情報ソリューション分野では、サービスビジネスは、導入サービスやセキュリティサービス等が堅調に推移しました。SI(システム開発)は、全般的に前年をやや下回る水準で推移しました。システム製品については、クラウドへのシフトにより、売上が減少しましたが、サーバーの入れ替えやセキュリティ関連のビジネスが利益面に貢献しました。

事業会社

J B C C株式会社 (J B C C)
J B サービス株式会社 (J B S)
株式会社シーアイエス (C I S)
株式会社ソルネット (S O L N E T)
ゼネラル・ビジネス・サービス株式会社 (G B S)
株式会社アイ・ラーニング (i-Learning)
J B パートナーソリューション株式会社 (J B P S)
佳報 (上海) 信息技术有限公司 (J B C N)
JBCC (Thailand) Co., Ltd. (J B T H)
JBSG PTE. LTD.

※連結子会社であった株式会社イグアスの株式をすべて売却したことに伴い、ディストリビューション分野は第1四半期のみの実績となります。

2 製品開発製造分野

売上高

11億96百万円

(前年同期比 3.4%増)

通期予想進捗率 47.9%

総利益

5億93百万円

(前年同期比 5.4%増)

通期予想進捗率 42.7%

プリンターなどの情報機器及び当グループ独自のソフトウェアの開発・製造・販売を行っている製品開発製造分野では、主力製品であるインパクトプリンターのビジネスは減少しました。

一方、J Bソフトウェアの販売や生産管理システム「R-P i C S」のビジネスが堅調に推移し、利益に貢献しました。

事業会社 J Bアドバンスト・テクノロジー株式会社 (J B A T)

3 ディストリビューション分野

売上高

67億58百万円

総利益

6億98百万円

(第1四半期連結累計期間のみ)

第1四半期末において、ディストリビューション分野に属する株式会社イグアスの株式を全て売却*したことに伴い、第2四半期はビジネス活動を行っていないことから、第1四半期の実績のみを記載しています。

ディストリビューション分野

パートナー向けにハードウェア、ソフトウェア、ITサプライ用品等の販売

事業会社 株式会社イグアス (iGUAZU)

株主還元

当社は株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つとしており、将来の投資や事業展開を考慮しつつ、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としております。
また、配当性向にも配慮しつつ、利益水準を向上させていく中でも純資産配当率 (DOE) の向上に努めております。

イグアス株式譲渡について

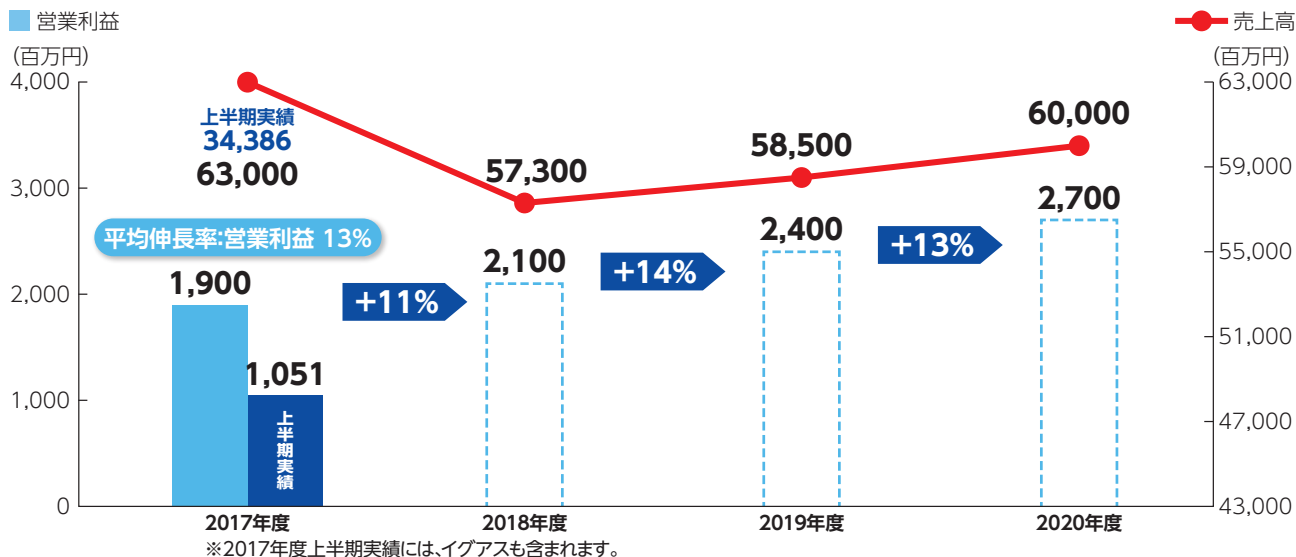
※株式会社イグアスの全株式を株式会社IGホールディングスに譲渡し、6月30日をもってイグアスは当社の連結対象子会社ではなくなりました。本件は、イグアスのグループの枠にとらわれない独立の立場での品ぞろえの実現、ディストリビューション機能の拡大を狙いとしております。今後、当グループは、イグアスのディストリビューション機能を引き続き活用するとともに、経営資源を一層集中させ、収益性の向上と企業成長を図ってまいります。



中期経営計画「Transform2020」の進捗について教えてください。

今年度からの新たな中期経営計画は「Transform2020」を総称として、お客様のデジタルトランスフォーメーションを支援し、収益の改善～グループ経営の最適化を図っていきます。
上半期迄で売上高、営業利益ともに55%の進捗となり、順調なスタートとなりました。

Transform2020 ビジネス目標



中期経営計画

Transform2020

2017年度
売上高の進捗 : **55%**

2017年度
営業利益の進捗 : **55%**



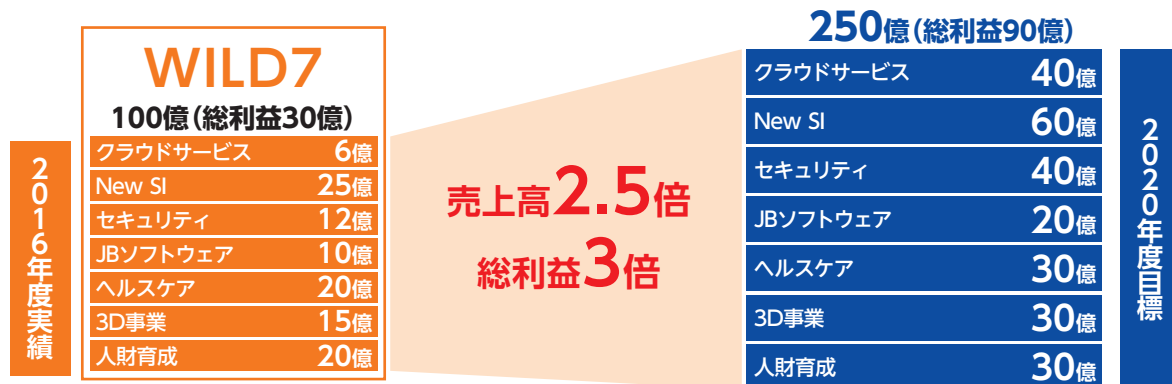
デジタルトランスフォーメーションとは

デジタル技術を出発点として、またはデジタル技術を駆使して、あらゆることをトランスフォーム（変化、転換）することを、一般的にデジタルトランスフォーメーションとしています。デジタル技術を前提に、既存のビジネスや組織のあり方、仕事の進め方、情報収集や学習のやり方あるいは生活のあり方を全面的に見直ししていくということです。

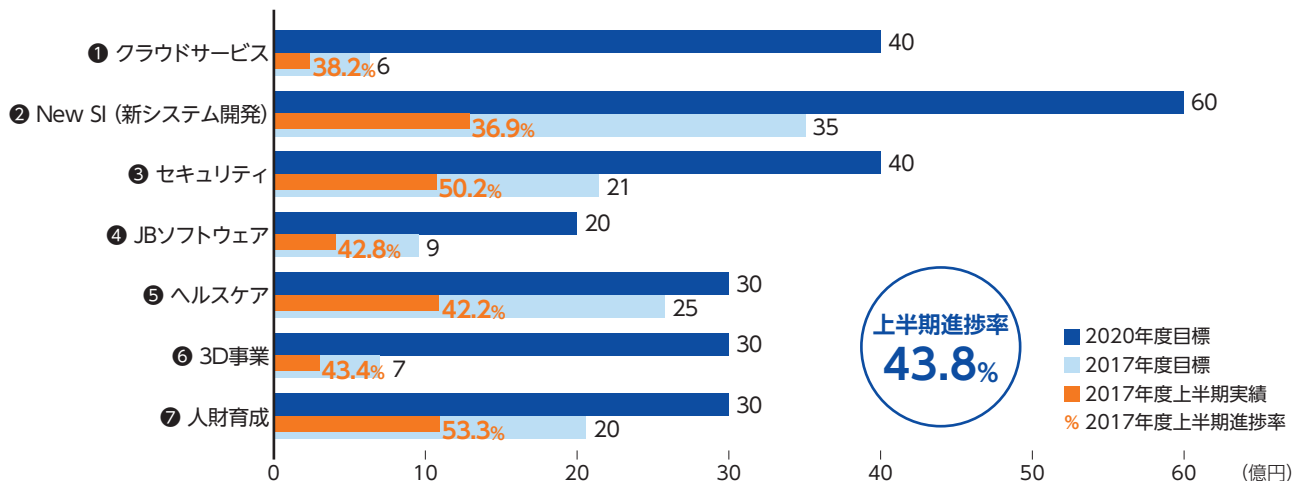
(参考：IT Leaders CIO賢人倶楽部)

成長事業として7つ(WILD7)をあげ、注力していきます。

2020年度までに、売上は2016年度の2.5倍、総利益は3倍を目指しています。



■上半期までの進捗(売上)



総じて、各事業で順調な進捗となりました。

なかでも、セキュリティ、人財育成は50%以上の進捗となりました。



新しい技術への取り組みについて教えてください。

クラウドをベースにIoTやAI等、 新しい技術を活用してデジタル化を推進しています。

今やICTは、生活やビジネスのあらゆる場面に利用され、社会になくてはならないものになりました。さらに人工知能（AI）、ロボットの活用等、生活やビジネスの様々な場面でデジタル化が進んでいます。

J Bグループでも、クラウドをベースにIoTや人工知能（AI）等、新しい技術を活用してデジタル化を推進し、お客様や社会の問題解決を目指しています。

J B C Cで推進する人工知能（AI）を活用したサービスをご紹介します。



東京ビッグサイトでのイベントなどに
出展をしています。

CloudAIチャットボットサービス

利用が進むLINEのビジネス版と人工知能を組み合わせ、業務の問い合わせから在庫照会、文書検索などの社内問い合わせが素早くできる「CloudAIチャットボットサービス」を、7月よりサービス開始しました。

最適な情報を手軽に素早く入手できるとともに、問い合わせ業務を効率化でき、“働き方改革”を推進するサービスとしてお客様に提案をしています。



FAQ CRM

多くの人が共通して尋ねる質問と、それに対する回答をまとめた問答集のこと。
主に情報システムを用いて顧客の属性や接触履歴を記録・管理し、それぞれの顧客に応じたきめ細かい対応を行うことで長期的な良好な関係を築き、顧客満足度を向上させる取り組み。また、そのために利用される情報システム(CRMシステム)。

SFA

企業で利用される情報システムやソフトウェアの一種で、営業活動を支援して効率化するもの。

(参考：IT用語辞典e-Words)

デジタル時代の研修：マイクロラーニング「マイラ」を推進しています。

アイ・ラーニングが運営するマイクロラーニング^(※)サイト「マイラ」は、ゲーム的要素を取り入れた動画による社員教育サイトです。数分単位の短い構成で学習者が飽きずに学べ、ビジネススキルからITの専門講座まで100を超える幅広い講座を自由に選択することが可能です。自発的に学ぶ楽しさを知ること、学びの習慣化・定着化が図れ、自ら考え行動できる人財の育成を推進します。

2018年度入社内定者の入社前研修として「マイラ」の採用を決定されたお客様では、2017年度の新入社員が「マイラ」を3ヶ月間試用し、①コンテンツ内容、②学びを習慣化する新しい学び方、③動画等を活用したマイクロラーニングの学び易さについて評価され、2017年10月より約800名の内定者が入社にむけ、学習をスタートされました。



※ マイクロラーニング：コンテンツの単位を数分単位に短くして、学習者が学び易くするための手法。特に普段からスマホを利用している人に効果が高いといわれている。

IRイベントで認知度向上を推進しています。

広く個人投資家の皆様当社をご理解いただく機会として、「日経IR・投資フェア2017」（8月25-26日開催）に出展し、2日間で約2,000名の個人投資家の皆様にJBグループについてご紹介しました。

開催期間中は企業ブースに出展するほか、会社説明会も実施し、多くの個人投資家の皆様にご参加いただきました。



当日の資料は、当社ホームページで確認いただけます。
<https://www.jbcchd.co.jp/ir/2017/08/28/170000.html>

東証IRフェスタ2018に出展します。

来年3月に開催される「東証IRフェスタ2018」にも出展します。お近くの方は、ぜひ企業ブースにお立ち寄りください。

開催：2018年3月16日（金）～17日（土）
 会場：パシフィコ横浜展示ホールB
 主催：日本取引所グループ/東京証券取引所
 公式サイト：http://www.tse-irfesta.com/

☑ アンケートのご報告

株主様アンケートの結果をご報告します。

本年6～7月にかけて実施いたしました株主様アンケートには、多くのご回答をお寄せいただき、ありがとうございます。いただきました貴重なご意見は、今後の経営に役立てるとともに、IR活動の参考とさせていただきます。

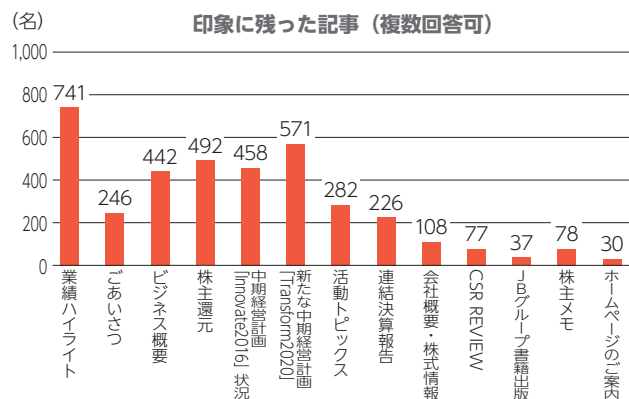
実施期間 2017年6月21日～7月20日
回答方法 はがき、インターネット
回答者 1,699名 (回答率 22.7%)

☑ 株主通信について

多くの株主様が印象に残った記事は、「業績ハイライト」「新たな中期経営計画Transform2020」でした。

新たな中期経営計画については、期待する声に加え、「進捗がわかる数値」や「WILD7（7つの成長分野）」の詳細な説明を希望する声もいただきました。

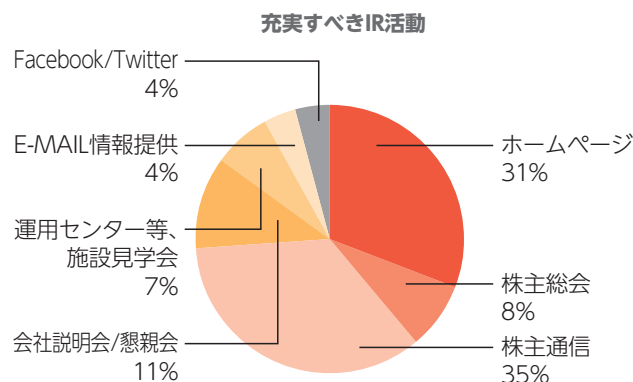
今後も、当社をよりご理解いただけるよう、さらに具体的な情報開示に努めてまいります。



☑ 当社のIR活動について

今年も、「株主通信」「ホームページ」の充実が上位となりました。コメントでは、認知度向上に関してご意見をいただきました。

事業内容や中期経営計画を、株主通信やホームページで、分かりやすく発信する機会を増やすとともに、FacebookなどのSNSも活用し、認知度向上につなげてまいります。



IR (Investor Relations)とは

インベスター・リレーションズの略で、企業が投資家に向けて経営状況や財務状況、業績動向に関する情報を発信する活動をいいます。当社では、定量的な数値に加えて、定性的な情報もお知らせする事により、分かりやすいIR活動となるように努めています。

☑ ご記入いただいたコメントより

アンケートでは、数カ所にご記入いただく欄を設定し、約1,500件のコメントをいただきました。コメントは、当グループへの励ましのお言葉やお叱りのコメントなどさまざまですが、その一部をご紹介します。

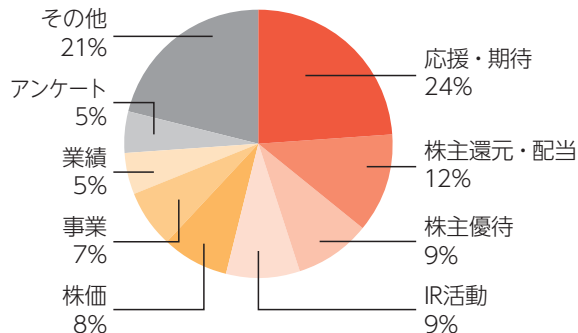


中期経営計画の取り組みに期待しています。



同業他社との違いを、強みとしてもっとアピールしてほしい。

お寄せいただいたコメントを参考に、より一層ＪＢグループをご理解いただけるよう努めてまいります。引き続き、当社へのご支援をよろしくお願いいたします。



企業認知度アップを目指してさらに努力してください。



企業活動の一環として社会奉仕活動もされている点は素晴らしいと思います。



Facebook、Twitter、ブログなどで社員の活動など投稿したら、もっと身近に感じられる。

実施報告は、当社ホームページでもご報告しております。



「よくあるご質問」では、ご質問の一部の回答もご案内しています。
また、「IR資料室」では、以下の資料をご確認いただけます。
決算短信／有価証券報告書／株主通信／決算説明会資料／株主総会資料／動画配信

投資家のみなさまへ

<https://www.jbcchd.co.jp/ir/>



ＪＢグループの情報は、FacebookやTwitterでもお届けしています。



[Facebook] <https://www.facebook.com/jbcchd>



[Twitter] <https://twitter.com/jbcchd>



公式Facebook



公式Twitter



第2四半期連結決算のご報告

連結貸借対照表

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 平成29年9月30日現在	前第2四半期 連結会計期間末 平成28年9月30日現在	前連結会計年度末 平成29年3月31日現在
資産の部			
流動資産	22,662	28,433	29,679
1 現金及び預金	7,345	4,406	7,293
受取手形及び売掛金	11,100	16,187	15,841
商品及び製品	1,105	3,206	1,914
仕掛品	293	286	226
原材料及び貯蔵品	422	552	463
その他	2,394	3,793	3,939
固定資産	8,893	8,443	8,671
有形固定資産	2,153	2,336	2,407
無形固定資産	667	799	753
投資その他の資産	6,073	5,308	5,511
資産合計	31,556	36,877	38,350
負債の部			
流動負債	11,346	16,117	17,152
1 支払手形及び買掛金	4,477	8,278	9,004
短期借入金	390	850	450
未払法人税等	713	479	885
その他	5,765	6,508	6,812
固定負債	5,696	7,351	7,332
1 退職給付に係る負債	5,174	6,877	6,781
資産除去債務	344	330	342
その他	177	142	208
負債合計	17,043	23,468	24,485
純資産の部			
株主資本	14,221	13,424	13,894
資本金	4,713	4,687	4,687
資本剰余金	4,848	4,798	4,842
利益剰余金	5,354	4,510	4,937
自己株式	△695	△572	△572
その他の包括利益累計額	246	△420	△130
その他有価証券評価差額金	809	342	544
為替換算調整勘定	10	△0	16
退職給付に係る調整累計額	△573	△762	△691
非支配株主持分	45	404	101
純資産合計	14,512	13,408	13,865
負債・純資産合計	31,556	36,877	38,350

連結損益計算書

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	当第2四半期連結累計期間 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	前連結会計年度 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで
2 売上高	34,386	41,106	83,272
売上原価	25,917	32,152	65,334
3 売上総利益	8,468	8,953	17,938
販売費及び一般管理費	7,417	7,993	16,082
4 営業利益	1,051	959	1,855
営業外収益	125	55	131
営業外費用	94	44	54
経常利益	1,082	970	1,932
特別利益	191	50	61
特別損失	0	24	55
税金等調整前四半期純利益	1,273	995	1,938
法人税等	609	352	661
四半期純利益	663	642	1,277
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	10	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	660	632	1,269

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	当第2四半期連結累計期間 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	前連結会計年度 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,033	△1,375	2,593
投資活動によるキャッシュ・フロー	275	△230	△395
5 財務活動によるキャッシュ・フロー	808	△259	△1,190
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△12	△4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	45	△1,877	1,002
現金及び現金同等物の期首残高	7,115	6,112	6,112
現金及び現金同等物の期末残高	7,161	4,234	7,115



Point

1 株式会社イグアスの全株式売却による 連結貸借対照表への影響

第1四半期末にディストリビューション（卸売）分野に属していた連結子会社であった株式会社イグアスの売却により、前年同期比における下記の勘定科目に差異が発生しています。

A 現金及び預金

当該子株式の売却に伴い現金及び預金が増加しました。

B 受取手形及び売掛金

C 商品及び製品

D 支払手形及び買掛金

E 短期借入金

ディストリビューション（卸売）分野は、在庫を抱えた上での掛売販売が多い業態のため、上記B、C、D、Eの勘定科目の比率が高く、当該子会社が連結決算から分離されたことにより減少しました。

F 退職給付に係る負債

250名以上の従業員が当グループより当該子会社へ転籍されたため、退職給付に係る負債についても減少しました。



第2四半期連結決算の詳細は当社ホームページ
〔IR資料室（決算短信）〕に掲載しています。

JBCCHD IR 決算短信 検索

<https://www.jbcchd.co.jp/ir/library/>

2 売上高

連結子会社であった株式会社イグアスの売却により、前年同期比16.3%減の343億86百万円となりましたが、同社を除いた前年同期比では、ほぼ同水準で進捗しています。

3 売上総利益

連結子会社売却の影響で売上総利益の総額による前年同期比は減少していますが、収益向上施策への取り組みの結果、売上総利益率では、前年同期の21.8%から24.6%と2.8ポイント上昇し、より一層の収益の向上化が進みました。

4 営業利益

上記の収益向上施策に加え、販売費及び一般管理費の削減により、前年同期比9.5%増の10億51百万円となりました。

5 財務活動によるキャッシュ・フロー

連結子会社売却が第2四半期連結累計期間内であったため、当該子会社における運転資金を、当グループのファイナンスから銀行借入に切り替えた影響が、財務活動によるキャッシュ・フローにも反映され、8億8百万円の増加（前年同期は2億59百万円の減少）となりました。



会社概要・株式情報



会社概要 (平成29年9月30日現在)

社 名 JBCCホールディングス株式会社
(JBCC Holdings Inc.)

本社所在地 〒144-8721
東京都大田区蒲田5-37-1
ニッセイ アロマ スクエア
電話 03-5714-5171 (大代表)

設立年月日 昭和39年4月1日

資 本 金 47億1,375万円

グループ社員数 1,910名
(別途有期社員数：158名)

役員 (平成29年9月30日現在)

代表取締役社長 山 田 隆 司

代 表 取 締 役 東 上 征 司

取締役常務執行役員 一 木 一 夫

取 締 役 谷 口 卓
三 星 義 明
高 橋 保 時
長谷川 礼 司 (社外)

取締役監査等委員 田 邊 雅 章 (常勤)
今 村 昭 文 (社外)
齊 藤 紀 夫 (社外)

株式の状況 (平成29年9月30日現在)

発行可能株式総数 86,000,000株
発行済株式の総数 17,773,743株
株主数 6,916名

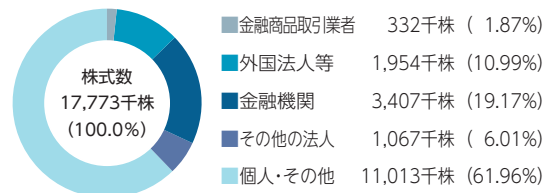
大株主 (上位10位)

順位	株主名	所有株式数	
		千株	%
1	J B グ ル ー プ 社 員 持 株 会	1,405	7.91
2	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	813	4.58
3	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	676	3.81
4	谷 口 君 代	418	2.35
5	富 国 生 命 保 険 相 互 会 社	414	2.33
6	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	310	1.74
7	THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	244	1.38
8	大 塚 哲 夫	240	1.35
9	THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	239	1.35
10	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口1)	236	1.33

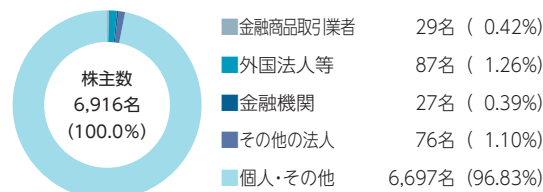
(注1) 上記には、当社名義の自己株式1,020千株は含まれておりません。
(注2) 上記の比率は「発行済株式の総数に対する所有株式数の割合」です。

所有者別株式分布状況 (平成29年9月30日現在)

株式数



株主数



CSR REVIEW

JBグループは、CSR実施方針を踏まえ、事業を通じた活動に加え、社員一人ひとりがさまざまな社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。



環境関連

環境活動(Fun to Share/ COOL CHOICE)

低炭素化社会の実現に向けた気候変動キャンペーン「Fun to Share」にJBグループ各社が賛同しています。また、2017年3月には、国民運動「COOL CHOICE」にも登録しました。

エコ・キャップ回収活動

2017年8月現在で、2,565,863個回収し、20,167.3kgのCO₂を削減、ポリオワクチン3,179名分相当となりました。

コンタクトレンズ空ケース回収活動

2017年度より、「アイシティecoプロジェクト」に参画しました。社員から使い捨てコンタクトレンズの空ケースを回収し寄付することで、視力を取り戻したい方への間接支援を行っています。

緑化活動

2017年度より富士山麓に広がる人工林を、豊かな本来の自然の森に再生する「富士山の森づくり」推進協議会^(※)の一員となり、5月～7月に活動しました。

8月には、2004年から活動しているホルチン砂漠(中国 内蒙古自治区)で、中国で働く社員が現地で緑化活動を実施しました。

ホルチン砂漠緑化活動実績

38ha(東京ドーム8.1個分)

(※) 富士山の森づくり公式サイト
<http://www.oisca.org/project/japan/fuji.html>

ボランティア

被災地支援活動

『鎮守の森のプロジェクト^(※)』と連携し、被災地沿岸部に巨大津波から“いのちを守る防災林”を築くための植樹・育樹活動に継続的に参加しています。

また、風評被害にあった地域の特産物の購入支援も実施しています。

(※) 鎮守の森のプロジェクト公式サイト <http://morinoproject.com/>

地域での活動

事務所近辺他の清掃や福祉施設へのカレンダー寄付、献血等に積極的に取り組んでいます。また、地域のイベントにも参加し、地元のみなさんとの交流を深めています。

障がいのある方を応援

日々の企業活動を通じて、障がいのある方が生産される物品等(手作りクッキーなど)を購入することで、自立支援、就労場所の確保等、間接的に応援しています。また、関東車椅子バスケットボール連盟のオフィシャルサポーターを務めるとともに、各地の車椅子バスケットボール大会の運営のお手伝いもしています。

社員のボランティア支援

ボランティア休暇やボランティアにかかる費用の一部負担の制度などを整え、社員の自発的なボランティア活動を支援しています。

JBグループでは、ご紹介した以外にも、「環境ISO14001」推進などさまざまな活動に取り組んでいます。活動は、当社ホームページでご確認ください。



<https://www.jbcchd.co.jp/csr/>

株 主 メ モ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
定時株主総会 毎年6月に開催
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関
同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話0120-232-711（通話料無料）
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所
公 告 掲 載 U R L <https://www.jbcchd.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、
その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本
経済新聞に公告いたします。)

お知らせ

株券電子化後、配当金の口座振込のご指定は
配当金振込指定書を各口座管理機関（証券会
社など）を経由してお届けいただくこととな
りました。
振込指定の詳しいお手続きにつきましては、
お取引のある口座管理機関にお問い合わせ
してください。

Facebookや
Twitterでも
情報をお届け
しています。



ホームページをご活用ください。

URL <https://www.jbcchd.co.jp/ir/>



決算などの財務内容、プレス
リリースなどを紹介してい
ます。ご質問、ご意見などを
お寄せいただくコーナーも
ございます。

動画配信

URL <https://www.jbcchd.co.jp/ir/library/movie/>
定時株主総会や機関投資家向け決算説明会の動画に加え、
個人投資家向けイベントでの会社説明など、当社経営者の
メッセージ動画を配信しています。



IRメール配信サービスのご案内 **無料**

当社ホームページの「IRニュース」などに掲載された各種
新着情報を、メールでご案内しています。
「株主・投資家情報」左メニューの「IRメール配信サービス」
よりご登録ください。



JBグループ各社の最新情報を
ご案内しています。

URL <http://www.jbgroup.jp/>



グループ各社からの「お知ら
せ」や「製品、サービス（ソ
リューション）」、「お客様事
例」などをまとめてご確認
いただけます。
動画ライブラリーもご確認く
ださい。



公式Facebook

<https://www.facebook.com/jbcchd>



公式Twitter

<https://twitter.com/jbcchd>



JBCCホールディングス株式会社

決算などの財務情報に関するご質問は

☎0120-887-652 受付時間9:00～17:00（土・日・祝日除く）

e-mail : ir@jbcc.co.jp

